

**JASDAQ**

平成 24 年 10 月 12 日

各 位

会社名	株式会社ソフィアホールディングス
代表者名	代表取締役社長 吉永 正紀
(コード番号)	6942)
問合せ先	経理部 IR 担当 北川 浩好
(TEL)	03-6205-5330)

当社連結子会社の新規事業開始に関するお知らせ

当社は、平成 24 年 10 月 12 日開催の取締役会におきまして、当社連結子会社であるソフィアデジタル株式会社（以下、「ソフィアデジタル」といいます。）を通じ、太陽光発電関連事業を開始することを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 新規事業開始の趣旨

我が国においては、昨年発生した東日本大震災とこれに伴う原子力発電所の重大な事故をきっかけに、電力供給不足の懸念が高まっており、また、石油や石炭といった化石燃料も二酸化炭素の温室効果ガスが大気中に放出され、地球温暖化に繋がっております。

このような環境・背景から、再生エネルギーによる発電がより重要性を増し、我が国でもエネルギー施策における代替エネルギーへの転換が急務として叫ばれ、「再生可能エネルギー特別措置法」の施行に基づく、「再生可能エネルギーの固定価格買取制度（電力全量買取制度）」が本年 7 月 1 日より開始されました。

当社グループは、このような環境の変化とそのマーケットを商機と捉え、業績のさらなる向上・企業価値の向上に向け、かねてより事業多角化の一環として太陽光発電関連事業への新規進出を調査、検討、準備等を行ってまいりましたが、このたび、当社連結子会社であるソフィアデジタルにおいて、太陽光発電モジュール（ソーラーパネル）及び発電システム（以下、「太陽光発電システム」といいます。）の販売事業を開始することといたしました。本事業を開始することにより、再生可能エネルギーに関連した商品・サービスを提供する企業グループとして社会に貢献するとともに、企業価値の向上をさらに推し進めていく所存であります。

ソフィアデジタルは、ネットデバイス（デジタル製品）の企画、開発、製造及び販売事業を行う会社として設立されました。そして設立以来、ワンセグ 6 チャンネル同時録画チューナーレコーダー「ARecx 6」(<http://sophiadigital.com/product/index.html>) の販売を通じて、お客様にインターネット(IT)の利便性・機能性を追求した商品・サービスを提供してまいりました。

ソフィアデジタルでは、ネットデバイス（デジタル製品）の取り扱い対象商品・サービスの幅を広げ、スマートメーター（次世代電力計）の拡大に伴う盗電やスマートグリッド（※1）へのサイバー攻撃に対する防御のためのセキュリティの必要性が高まっているなか、IT を基盤とする計測とセキュリティ、通信を組み合わせたスマートメーター等送配電機器市場における商品・サービスの提供も視野に入れ、高品質かつ価格競争力のある太陽光発電システムを継続的・安定的に調達・仕入・販売できる運営・管理体制を構築しており、このたび、販売先企業（以下、「当該企業」といいます。）と継続的商品売買契約を締結することとなりました。

当該企業は、住宅メーカー等と提携し、個人向けに家庭用太陽光発電システムの設置及び販売事業を主軸として全国に事業展開しており、今回の契約により、ソフィアデジタルから継続的・安定的に太陽光発電システムを仕入・販売できることから、さらなる販売拡大を見込んでおります。

ソフィアデジタルとしても、今回の契約により、太陽光発電システムの販売実績を着実に積み上げることが見込まれ、その実績をもとに販売先の拡大を図り、さらなる業容の拡大と企業価値の向

上を押し進めていく所存であります。

当社グループの持続的成長の確保に向けて、今後の事業方針としましては、太陽光発電関連事業と基幹事業の IT・通信やネットワーク等は親和性が高いと勘案し、太陽光発電関連事業における顧客価値をたえず創造し、顧客との長期的な信頼関係を構築・維持する“ハイエンドインテグレーションプロバイダー”となることを目指していきます。

また、当社グループの IT と通信の事業領域で培ったコアコンピタンスやノウハウを活用し、相互に補完性ある基幹事業の融合などグループシナジーを図りつつ、太陽光発電システム等の商品・サービスにおいて、独自性ある高付加価値ソリューションとビジネスプロダクションを提供していく所存であります。

2. 新たな事業の概要

ソフィアデジタルにおいて、海外製を主軸とした太陽光発電システムを継続的・安定的に調達・仕入・販売できる運営・管理体制を構築しており、高品質かつ価格競争力のある商品・サービスのプロバイダーとして、メガソーラー（※2）事業を含む全国の太陽光発電事業者や個人住宅等を対象に事業を展開していきます。（<http://solar.sophiadigital.com/>）

今後の具体的な事業としては、太陽光発電システムの販売、太陽光発電システムに関するシステムインテグレーター、システムマネジメント、コンサルティングやアドバイザー等の業務受注等を計画しております。

将来的には、案件のニーズ、条件等を勘案の上、ビジネスパートナー等と連携して、太陽光発電事業プロジェクトの企画・立案、提案、管理、コンサルティングやアドバイザーなどの業務受注等を目指し、メガソーラーを含む太陽光発電事業の参画も視野に入れております。また、太陽光発電事業に加え、IT・通信や蓄電等の機能を活用したスマートグリッド関連ビジネスの開発・展開も積極的に取り組み、将来の市場拡大を視野に入れた幅広い事業の創出を目指していく所存であります。

3. 当該連結子会社の概要

(1)商号	ソフィアデジタル株式会社
(2)本店所在地	東京都新宿区新宿六丁目 24-20 Welship 東新宿 2 階
(3)代表者の役職・氏名	代表取締役社長 杉本 太
(4)事業内容	ネットデバイス（デジタル製品）の企画、開発、製造、販売等
(5)資本金	10,000,000 円

4. 日程

- (1)取締役会決議日:平成 24 年 10 月 12 日
- (2)継続的商品売買契約締結日:平成 24 年 10 月 12 日
- (3)事業開始日:平成 24 年 10 月下旬予定

5. 今後の見通し

新規事業開始に伴う今後の業績に与える影響につきましては、現在精査中であり、適正かつ合理的な数値の算出が可能になりました段階で公表いたします。

以 上

(※1) スマートグリッド

従来からの集中型電源と送電系統との一体運用に加え、情報通信技術の活用により、太陽光発電などの分散型電源や需要家の情報を統合・活用した、高効率、高品質、高信頼度の電力供給システムの送配電網の呼称。次世代電力網ともよばれる。

(※2) メガソーラー

1 メガワット（1000 キロワット）を超える大規模な太陽光発電施設のこと。日本では、2009 年（平成

21年)までに263万キロワットの太陽光発電設備が導入されているが、住宅向け設備が容量の約8割を占め、個々の平均的な発電容量は3~4キロワット程度である。こうした家庭等での自家消費を主目的とする分散型設備に対し、近年になり電力会社等が建設を進めている大規模な商業用太陽光発電施設がメガソーラーとよばれている。

日本の電力10社は、2020年度までに、全国約30地点で約14万キロワットのメガソーラー発電所の建設を計画している。これらが完成すると、約4万軒の家庭が1年間に使用する電気に匹敵する約1億5千万キロワット時の発電が可能である(電気事業者連合の試算)。

(出所: Yahoo! JAPAN 百科事典 日本大百科全書(小学館)より抜粋)